

桑名文化協会

平成27年9月18日

第 38 号

桑名市文化協会
桑名市中央町2丁目37
TEL 24-1361
<http://bunkyo-kuwana.jp>

ご挨拶

桑名市文化協会

副会長 丹羽宗俊



今年の夏は、本当に暑い暑い夏でした。昼間の猛暑と熱帯夜の中で、こんな日がいままで続くのかと心配しました。しかし、立秋を過ぎると何となく朝夕は涼しくなってきた、ほっとしました。

今年度引き続き文化協会の副会長をつとめさせていただくこととなりました。今村会長のもとで微力ではございますが、頑張つてまいります。どうかよろしく願います。

担当は広報で、広報紙「桑名文協」の編集と発行です。紙面がマンネリ化しないよう、皆様に喜んで読んでいただけるよう、各部門からの広報委員十名と力を合わせて努力してま

いります。

文化協会には十の部門があり、約二千百人の会員がいます。今年の桑名市民芸術文化祭のポスターをご覧いただければ、石取祭の提灯に十の部門が明記されています。「この部門なら興味があるし、参加してみよう」と思われる方をどの部門も大歓迎です。秋には、第24回桑名市民芸術文化祭が開催されます（詳細は、桑名文協38号、九月十八日発行に掲載）。是非お出かけ下さい。

文化活動については、活動する方の高齢化、後継者不足が懸念されてきています。高齢化は、世界的とは言わないまでも、多くの国で課題となつてきています。日本の女性の平均寿命が、八十六・六歳（世界一位）、日本男性は八十・二歳（世界四位）となりました。（二〇一五年五月発表）生活年齢が伸びて、健康であれば社会活動が続け、同じ喜びや体験を共有できる仲間を増やして、心豊かな時をいきいきと輝いて過ごしていけるでしょう。その場を文化協会の中にも見つけてください。若い人も、文化協会の活動に興味を持っていただき、いろいろな場面で仲間の輪を

大きくしていつて欲しいと願っています。

今年度再選されたり、新しく選出された副会長、理事、監事と力を合わせ、今村会長を支えて、伝統ある桑名市文化協会の発展に努力してまいります。

市民の皆様、会員の皆様、これまでのご支援に感謝致します。これからも建設的なご意見をお寄せいただき、心あたたまるご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

ご挨拶

桑名市文化協会

副会長 安田治三



過日の総会で桑名市文化協会副会長を仰せつかり、以来日々重責を痛感しております。

前任の中山雅幸副会長を始め先輩諸氏をお手本に、会員様の御協力を賜りながら微力ではありますが、桑名市文化協会の更なる発展に貢献できればと思う次第です。どうか皆様ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。

桑名市文化協会と私は振り返ってみれば二十有余年のお付き合いをさせて頂いてることになり、本当に歳月人を待たずという月日の過ぎてゆく早さに驚くばかり。私は稀な形で、文学部門と美術部門に所属しています。下手の横好きは私の代名詞に相違ありません。

そんな訳で多くの会員さんにお会いできたり、お話ができる事が、何よりも大きな私の財産となつていきますし、励まされたり、勇気をもらつたりして救われもしました。文化協会という団体は私にとって大切な人々との出会いの場にもなっている訳です。今後もご教示を頂き楽しくやつてゆこうと思います。

今朝、庭に一匹の蟬が
仰向きになつていた
地上に出てわずかな日数の
一生を終えたのだ
私は知らないけれど
きつと見事な一生だった気がする
オスカメスカもわからない
でもたくましく生きた気がする
誰にも言わないけれど
よく頑張ったねと
心の中で私は言った
暑い暑いと毎日愚痴った私
蟬時雨は一層、不快だった
でもあれが君だったなら
許して下さいこんな私を

第24回 桑名市民芸術文化祭

プログラム



第24回
桑名市民芸術文化祭

文化力で桑名の魅力広げよう

2015 10/4(日)・12/6(日)
2016 1/16(土)・17(日)

会場／桑名市民会館・くわなメディアライヴ・六華苑・多度公民館 主催／桑名市・桑名市文化協会

【新】春・六・華・苑・祭

【会場】六華苑 【日時】2016年1月16日(土)・17日(日)
【共催】(一財)桑名市文化・スポーツ振興公社

●協賛事業

2016年3/11(金)

桑名マンドリン倶楽部
第13回演奏会
桑名市民会館 小ホール

2015年12/1～
2016年2月末

文福フェスタ 2016
福祉の店「わくわく」

10/4(日)
13時30分～16時30分
(開場は13時)

演劇の祭典
演劇「鉄道員(ぼっぼや)」と地元
大正琴グループ「スタックアート」
「プレアデス」とのコラボ
多度公民館

10/17(土)・18(日)
17日 9時～17時
18日 9時～15時

趣味教養祭
桑名愛石会第40回記念水石展
メディアライヴ 多目的ホール

10/17(土)・18(日)
17日 囲碁大会
10時15分～19時(受付10時)
18日 将棋大会
10時30分～19時(受付9時30分)

趣味教養祭
市民囲碁・将棋大会
桑名市民会館 大会議室

10/24(土)・25(日)
24日 ファッションショー
14時～16時(開場13時30分)
25日 作品展示と体験
9時～16時

くわコレ'15
24日 ファッションショー
桑名市民会館 小ホール
25日 作品展示と体験
桑名市民会館 展示室

10/25(日)
9時30分～12時30分

小倉百人一首
初心者かるた取り大会
六華苑 一の間

10/31(土)・11/1(日)
31日 9時～17時
1日 9時～15時

趣味教養祭
彫型画、パッチワーク、
きもの等の展示及び体験講習
くわなメディアライヴ 多目的ホール

10/31(土)・11/1(日)
31日 10時～16時30分
1日 9時～16時

社会文化部門展
お伊勢さんと桑名
桑名市民会館 展示室

11/1(日)
9時30分～17時(開場9時)

吟剣詩舞道の祭典
桑名市民会館 小ホール

11/3(火・祝)・4(水)
10時～16時

華道展
六華苑 会議室・番蔵棟

11/3(火・祝)
10時～15時30分

お茶会
六華苑 一の間・遠州流
二の間・桑名表千家流

11/12(木)～15(日)
12日 12時～17時
13・14日 9時～17時
15日 9時～16時

美術部門展
くわなメディアライヴ
多目的ホール

11/14(土)・15(日)
14日 13時～16時(開場12時)
15日 10時～16時(開場9時30分)

芸能の祭典
桑名市民会館 大ホール

11/22(日)
13時～17時(開場12時30分)

音楽のフルコース
桑名市民会館 小ホール

12/6(日)
13時～16時(開場12時30分)

ダンス、DE,
パフォーマンス”2015”
桑名市民会館 大ホール

2016年3月発行
『桑名文協』

文芸作品掲載
各公民館・センターに設置予定

桑名市民芸術文化祭へのお誘い

六華苑の華展によせて

華道部門(MOA山月光輪花)

水谷 嘉代子



六華苑は和洋の建築物もさることながら、広い芝生の庭の向こうに、自然たっぷりの散策道が続いています。あたかも別世界の様です。歴史ある建物に相応しい、静かで、

優しい自然に浸る事が出来ます。この様な贅沢な環境の中で、私達は毎月の様に、各流派の華展をしています。お茶席も同じく各流派交代で、華展と同時開催です。

私共のMOA山月光輪花は、熱海のMOA美術館の創始者、岡田茂吉翁の思想哲学に基づき、昭和四十七年に創設されました。美しい花を何時、どこでも、誰の目にもふれることが出来る様にと願って、自然に咲く花をよりその花の生命を輝かせる花に活けられる様とめています。

花は自然界の中で創り出された芸術品ではないでしょうか。春夏秋冬、どんな苛酷な環境の中でも、季節が巡ってくれば、色とりどりの形も各々に、美しい花を咲かせてくれます。

まさに、自然からの尊い尊い贈り物です。

時々「すごい！」と感じることがあります。例えば、丈が高く倒れ易い少し幅のある菖蒲類の葉等は、一株の中で表裏、表裏とどちらから風が吹いても倒れない様に自己防衛をしています。椿の様に雪の中で咲く場合は、葉の裏に花をつけ、雪から身を守っています。私達人間や動物達と同じように生命あるものなので、植物は人間の言葉は発しませんが、植物同士では意志が通じ合えるとも言われています。それ故にいと美しく気持が伝わる気がします。

花の美しさに感動し、見とれる心は健康にもつながる様です。六華苑の散策道では、時折、小鳥のさえずりや、蝉しぐれ、虫のすだく声が聞かれます。自然の美しさ、そして私達人間の心をつくした活け花を、輝く生命の美しさを、是非ご覧下さい。お運びいただければ大変、嬉しく存じます。

御木曳き祭斎行記念展を御覧ください

社会文化部門 大河内 浩

今年は、二十一年に一度の伊勢神宮御遷宮を受けて、崇高な神宮鳥居三基が桑名市内へ移設されました。七里の渡し場・赤須賀神明社・城南神社とも、すでに御木曳き祭・奉祝記念行事が済み、真新しい鳥居に建て

替えられています。

「お伊勢さん」と桑名とのつながりを、日本の伝統文化という視線でとらえて紹介、展示する企画で入場無料・自由観覧です。一人で多くの方に「桑名が全国でも例のない、お伊勢さんとゆかりの深い地である」ということを知って頂きたいと思っています。

写真は御木曳き祭の出版を待つ伊勢国一の鳥居の御用材で、桑名市長の姿もみえます。



音楽のフルコースへのお誘い

音楽部門 葛巻 ゆかり

マリンバ奏者の葛巻ゆかりと申します。桑名市と愛知県でマリンバとピアノを教えつつ、マリンバ奏者として活動しています。今回、音楽のフルコースでは初出演となります。なお、平成28年3月には桑名市で二度目のリサイタルを行う予定です。マリンバは木琴の一種で上部に並ぶ木の板を鍵盤と呼び、鍵盤の下に

見えるたくさんパイプを共鳴管と呼び、マレットと呼ばれる先端にたまのついた棒で鍵盤をたたき、出た音が共鳴管によって拡大されます。

マリンバの魅力は、まずその豊かな倍音にあります。そのため、小さい音でも遠くまで届き、大きい音でもうるさく感じにくいと言われています。鍵盤楽器では最大級の音量をもち、特に低音には迫力があります。さらに、マレットの種類により柔らかい音から固い音まで曲に合わせた音色を奏でることが出来ます。一方、両手に二から六本のマレットを持って巨大な楽器を操る様子は耳だけでなく目で見ても楽しめます。

マリンバはアフリカを起源として中南米で発達し、やがて欧米の十二音階(ドレミ)を演奏できるようになりました。共鳴管も当初は瓢箪をぶら下げた原始的なものでしたが、やがて木の箱になりました。金属製の共鳴管になりました。マリンバが現在の形式になって百年程度で、演奏スタイルもまだ発展の可能性を秘めています。

今回は、「星に願いを」、「アメージンググレース」など、おなじみの曲に加え、マリンバのために作られた曲をお届けします。十一組の出演者が様々な表現方法、ジャンルの音楽を繰り広げます。11月22日12時半開場、13時開演です。皆様ぜひお誘いあってお越しください。



平成27年度 桑名市文化協会育成補助金助成事業一覧

団 体 名	事 業 名	開催期日	開催場所
桑名吹奏楽団	桑名吹奏楽団 第42回 定期演奏会	H27.9.6	桑名市民会館 大ホール
生田流箏曲麗明社「廣翔会」	麗明智翔箏コンサート 2015 ～ありがとうを箏の音にのせて～	H27.6.6	桑名市民会館 小ホール
桑名マンドリン倶楽部	第13回 演奏会	H28.3.11	桑名市民会館 小ホール
生田流箏曲愛会	第10回 箏曲愛会定期演奏会 中村かおる 第12回 三重県文化賞受賞記念演奏会	H28.3.19	桑名市民会館 小ホール
個人会員 大河内 浩	「お伊勢さんと桑名」神宮鳥居3 基移設記念企画展	H27.4.23～H27.6.30	桑名市立中央図書館
桑名演劇協会	戦後70周年企画 朗読と音楽のタベ～桑名にも空襲があった	H27.7.18	桑名市六華苑



コンサートと朗読のタベ —桑名演劇協会

演劇部門（劇団すがお）

加藤 武 夫

去る七月十八日（土）の夜、私たち桑名演劇協会（現在、演劇集団Cブレンドと劇団すがおで構成）は、桑名空襲七十年を迎え、「桑名にも空襲があった」と銘打ってコンサートと朗読の公演を持ちました。

場所は桑名市六華苑の屋外庭園。前日来台風の影響で天気は当日の昼まで雨。

昼過ぎから天候が好転していくのを確認して会場準備。開場の六時には門前に多くの人々が並んで開場を待っていました。

用意した椅子席が不足し立ち席が出る中で第Ⅰ部開演。ボーカルとピアノ、ヴァイオリンによる「トライアングル」の皆さんによるコンサート、夕焼けが美しい中で始まる。二十五分の演奏の後休憩十五分、第Ⅱ部は、桑名空襲の体験記の朗読。出演者は九人。観客席はシーンとして実に静かに聞き入ってくれる。

朗読が進むにつれ涙する観客が…。

わずか一時間、六篇の体験談の朗読と米倉齊加年さんの童話の朗読でしたが、観客の胸に届けることが出来たと思います。あれから七十年、いつまでもこの平和が続くことを願って行った演劇人のささやかな平和行動でした。

観客の反応はすこぶる良く多くの方が感動したという言葉を送らせてくださいました。

麗明智翔箏

コンサートを終えて

芸能Ⅰ部門（箏曲麗明社「廣翔会」）

麗 明 智 翔

去る六月六日（土）、桑名市民会館小ホールにて、「麗明智翔箏コンサート2015」ありがとうを箏の音にのせて」を開催しました。

社会人より箏をはじめた為スタートが遅かった私は、会社を辞めすぐに上京を決意、無我夢中で修業に励



みました。東京での厳しくも熱いご指導、仲間との出逢い、そして三重県に戻ってから、皆様には、皆さんの演奏の機会を与えて頂き、地元の皆様のおかげで温かい応援が力となり支えとなりました。その感謝の気持ちをこのコンサートに表したく、サブタイトルを「ありがとうを箏の音にのせて」と決めました。

今回は、東京時代にお世話になりました尺八演奏家菅原久仁義先生、箏演奏家井関一博先生、十年來の演奏仲間成瀬朋子さんが快く三重県に来て頂き、コンサートが迫力あるものとなりました。コンサートは、全て現代箏曲にし、箏の良さも出しつつ、箏の新しい可能性・イメージを変えるようなプログラムにしました。観客の皆様は、箏をはじめ聴く方や和楽器経験のない方が多く、音楽としてコンサートを楽しめたとの声を頂きました。

また六月六日は「邦楽の日」でもありました。一人でも多くの方が和楽器に触れ、魅力が伝わればと願います。

これからの活動を通じ、伝統と現代の融合、新しいものへの挑戦、独自の音楽への探究心を高め、日々精進してまいりたいと思います。心より感謝申し上げます。

この技紹介

デジカメ時代

美術部門（写真）

大須賀 可次

全日本写真連盟桑名支部は、来年、創立六十周年を迎える伝統ある支部で、多くの先輩にご指導を受けています。先般は、伊勢湾台風五十周年の時期に、災害当時の写真と五十年後の同じ場所の写真を比較していただきました。

ご存じのように、写真は銀塩フィルムカメラから、今はデジタルカメラに変わっています。

フィルムカメラの時は、撮影後、写真屋で現像から印画紙に焼き付けし、気に入った写真は、写真屋の主人に頼んで、トリミング（画像の切り取り）や部分焼込みなどの「この技」を使って作品づくりをしていました。

デジタルカメラでは、簡単に写せ、写した写真を液晶画面で直ぐに確認できる便利さがあります。しかし、一年に数枚は「一瞬の輝き」を感じずる写真が出来るがあります。自宅にパソコン、画像編集ソフト、プリンタがあれば、自分でトリミングや画像処理が出来、「一瞬の輝き」を実感する写真を体感することが出来ます。

スマホや小型デジタルカメラで撮るだけの写真から、「一瞬の輝き」を多くの人に見てもらいたい写真を作り上げる「この技」を楽しみませんか。

競技かるたの魅力

趣味教養部門（桑名若菜会）

加藤 誠

競技かるた上達のためには三つの能力、即ち記憶力、瞬発力、集中力を高める必要があります。

競技かるたの試合時間は約一時間三十分ほどですが、選手はこの間ずっと暗記を繰り返しています。刻々と変化する札の配置、「決まり字」の变化。。

また、相手より一瞬でも速く札を取るために手のスピードを上げる訓練として、野球の素振りのようなスイングの練習も欠かせません。

さらに、前の札の下句の音が切れてから、次の上の句が詠まれるまでの一秒間の「間」に全神経を集中させます。

以上の三つの能力の中でも音に対しての集中力が競技かるたの最も難しく、奥深いところかと思えます。

「間」の一秒間にいかに無心になれるか、ただただ読手の音だけに集中できるか、が結局速く取るコツです。この「間」に〇〇の札が出てほしいな、



この札を取らなくては等の「邪念」が出た時はたいがい取れません。

私は、この「間」の境地を松尾芭蕉の次の句になぞらえることにしています。

閑さや 岩にしみ入る 蟬の声

通説とは違う解釈かもしれませんが、長谷川権氏によると、この句は蟬の声に耳をすますとその彼方に夏の天地の大きな静寂が広がっていた、と宇宙の静寂さを表現した作品という事です。

競技かるたの選手は「間」の一秒間に芭蕉と同じく静寂さを感じられた時こそ全神経を集中出来ているとさです。

日常の観念を忘れ無の境地に入り、小倉百人一首の歌の声と向いあう。そして、一瞬でも速く札を取りあうというゲーム性、このあたりが競技かるたの魅力の源泉であり、競技かるたの醍醐味だと思います。

みなさんもこのような競技かるたの世界を一度覗いてみませんか。

第二十四回

桑名市民芸術文化祭

ポスター入賞者表彰式

今年度の文化祭ポスター原画市長賞には、市内在住の浅井清貴さんが選ばれました。浅井さんの原画は石取祭の祭車、六華苑、千羽鶴等をモチーフにした素敵な作品です。祭車の十二張の提灯には文化協会の部門名が入っています。

佳作には、市内在住の小栗衣里加さんが選ばれました。

七月二十九日（水）に、関係者による表彰式が行われました。



桑名地名あれこれ(13)

油島堤防の千本松原

社会文化部門
(個人会員)
大河内 浩

本企画も十回以上続いています
が、時おり希望が寄せられます。
今回希望のあった千本松原は現在
岐阜県域ですが、かつては三重県
域であったことを御存じでしょう
か。明治十六年九月、揖斐・長良
両川合流地点が美濃・伊勢国境と
され、金廻輪中(金廻・油島新田・
江内)は桑名郡から下石津郡(後
の海津郡)へ編入となりました。
三大川が合流するこのあたりの
輪中地帯は、たびたびの水難で開
発・亡所を繰り返し、苦難の歴史
を歩んできました。「飛山濃水」と
いう表現がありますが、大雨が降
るたび飛驒山溪から流入する土砂
で美濃の川筋は洪水を起こし、ま
ともに作物が収穫できるのは十年
に一度とも言われました。
宝暦三年(一七五三)秋、数十
年ぶりの大洪水に見舞われたため
美濃国の笠松陣屋(幕府領を治め
る役所)の人が幕府へ宛てた手紙
がきっかけとなって、同年十二月
二十五日に薩摩藩へ治水工事の命
令が下りました。当時の薩摩藩は
対面とは裏腹に相次ぐ災害も加わ
り財政は火の車であったそうです。



その後明治 20 年に内務省による更に近代的な河川改修
工事が始められて 100 年となる昭和 62 年、記念事業と
して開園された国営木曽三川公園(同園資料写真より)

財政担当の平田鞆負は「四海同
胞」の理念でこれを引き受け、約
千人の薩摩藩士が工事に当たりま
した。当時日本で最も難しいとさ
れた工事を一年半で成し遂げた後
に残ったのは、八十四人の殉難者と
膨大な借金です。薩摩藩士たちが
国元から取り寄せて植えた松並木
は千本松原と呼ばれ、悲しくも美
しい「薩摩さま」の偉業は明治以
後薩摩義士として顕彰され、昭和
十三年には広く全国から募った基
金で治水神社が建てられました。

御賛助いただいております 特別会員の皆様

(五十音順)

医療法人誠会 山崎病院様
お菓子処「和」様
カネソウ株式会社様
株式会社 朝日鋳工所様
株式会社 グランビル様
株式会社 ケイディーエンジニア様
株式会社 山王鉄工所様
株式会社 東和様
株式会社 水谷精機工作所様
株式会社 レイステージ桑名様
桑名 信 用 金 庫 様
在日本大韓民国国民三重県桑名支部様
茶道具 山 水 園 様
中央不動産株式会社様
辻内鋳物鉄工株式会社様
兎 月 堂 様
花 新 江 場 中 店 様
花 乃 舍 様
光 精工株式会社様
三重精機株式会社様
森田フードシステム株式会社様
有限会社 茶 茂 様

目頃のご協力に對しまして、
深くお礼申しあげます。

編集後記

今年の夏も暑かったですね。皆
様はこの夏をどう過ごされました
か。私は花火や石取祭を見たりし
て楽しく過ごしました。暑かった
のでお稽古は少し遠ざけていまし
たが：(笑)。

広報委員をさせて頂き、会員の
皆様が発表の場に向けて日々精進
されている事を知り、私もがんば
ろうという気持ちになりました。
そして今年も市民芸術文化祭に参
加する一人として、多くの方に来
て頂けることを祈っております。
また、お忙しい中、桑名文協の原
稿提出にご協力賜りました皆様に
感謝申し上げます。

(村瀬 昌子)

広報担当副会長 委員

文学部門 丹羽 宗俊
美術部門 上田 順子
音楽部門 安田 誠
芸能Ⅰ部門 葛巻ゆかり
芸能Ⅱ部門 村瀬 昌子
芸能Ⅲ部門 藤田 周岳
演劇部門 伊藤 好子
社会文化部門 内山 亜美
茶華香道部門 大河内 浩
趣味教養部門 三浦 幸子
加藤 誠